

【補足説明資料】

Terry2 miniの提供開始および AIプロダクト事業の強化に関するお知らせ

2026年4月21日

Hmcomm株式会社

東証グロース市場

証券コード：265A

- 1 プロダクト型サービス「Terry2 mini」の提供開始
- 2 標準化により短期間・低コストでの導入を実現
- 3 月額課金を軸に継続的な収益基盤を強化
- 4 上位版Terry2・個別最適化・他ソリューション連携によるLTV最大化

市場背景

- 1 コールセンターの人手不足が深刻化
- 2 業務効率化ニーズの一層の高まり
- 3 音声AI導入ニーズの拡大

従来導入のハードル

- 1 IP-PBXや基幹システムとの個別連携が前提
- 2 導入期間・コストの増大
- 3 専門技術者の確保・配置の負荷

比較項目	Terry2（個別開発型）	Terry2 mini（標準化プロダクト）
提供形態	個別要件に合わせた開発	標準機能を中心としたパッケージ
導入期間	数週間～数ヶ月	数日～数週間
初期費用／運用	初期投資大・個別見積	月額課金・初期投資を抑制
連携要件	IP-PBX／基幹との個別連携	主要ユースケースに標準対応
対象顧客	大規模・要件が複雑な顧客	迅速導入・コスト重視の幅広い顧客層
拡張性	高い（個別開発対応）	上位版Terry2や個別最適化へ拡張可能



短期間導入

標準機能により
最短数日～数週間で導入



低コスト運用

プロダクト型提供で
初期投資を抑制



業務特化型パッケージ

FAQ対応／一次受付／予約受付などの主要
ユースケースに対応



高精度音声AI

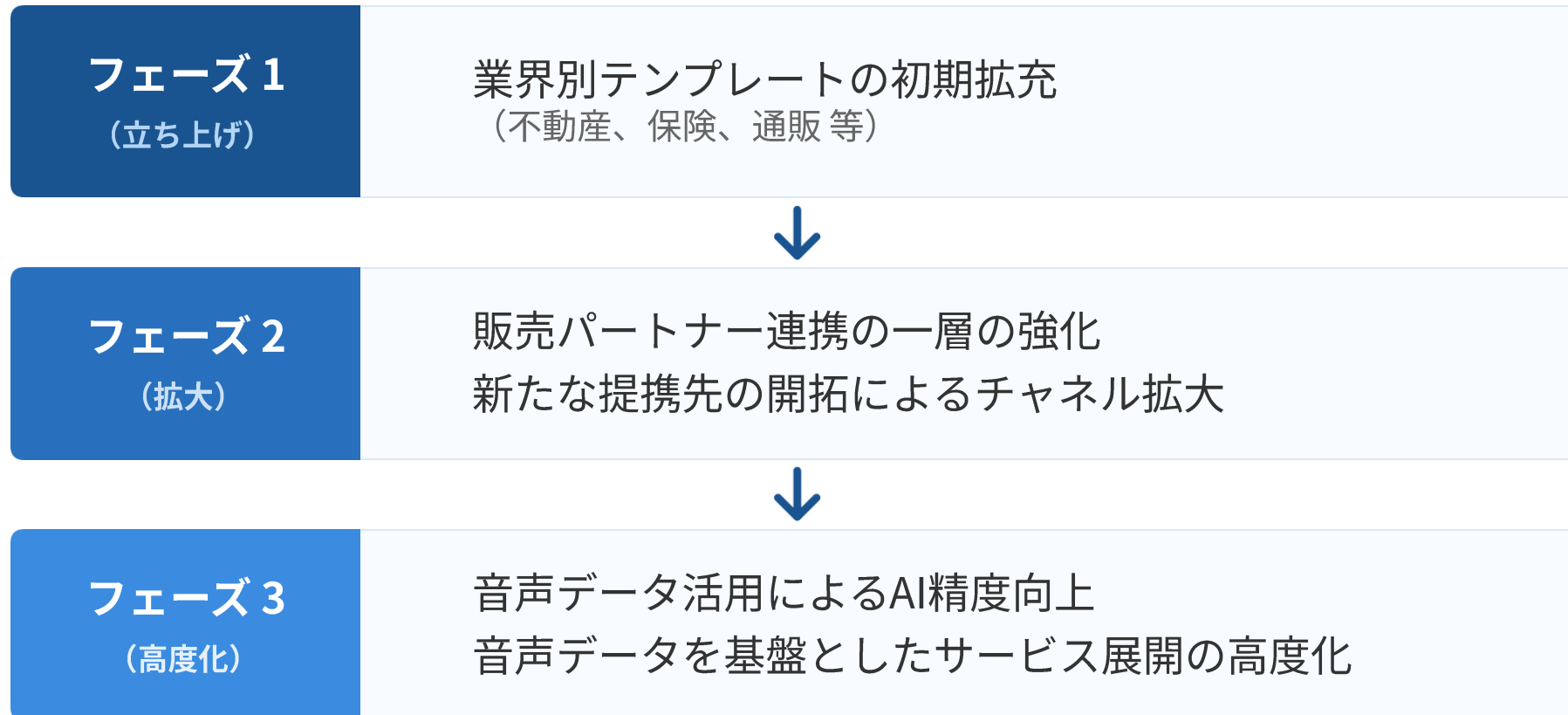
当社の独自音声認識・自然言語処理技術
を活用



①収益モデル 月額課金型サブスクリプション

②アップセル導線 上位版Terry2、個別最適化開発、他ソリューション連携

③目的 顧客単価の最大化と長期的関係の構築



業績への影響について

当期業績への影響は現時点では軽微であると見込んでおります。

中長期的には当社の収益基盤の強化および収益構造の高度化に寄与するものと考えております。

今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

本取り組みの意義（まとめ）

本取り組みは、当社の事業ポートフォリオの高度化および収益基盤の強化を目的とするものであり、中長期的な企業価値向上に資する施策と位置付けております。

本資料は、当社の事業内容や業績等に関する情報提供を目的として作成されたものであり、有価証券の取得、売却等の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する判断は、ご自身の責任にて行っていただきますようお願いいたします。

本資料には、いわゆる「将来の見通し(forward-looking statements)」が含まれる場合があります。これらは、現在入手可能な情報および合理的と判断される前提に基づいて作成されたものであり、不確実性を含んでおります。実際の業績等は、記載された見通しとは大きく異なる可能性があります。

なお、当社は将来の見通しに関する記述について、新たな情報や将来の事象に基づき、常にこれを更新または修正するものではありません。ただし、有価証券上場規程等により開示が求められる事象が発生した場合には、速やかに公表いたします。